

廃校を活用し地域創生

やまがBASE



施設外観

やまがBASE（熊本県山

鹿市）は1日、山鹿市内の廃校を活用した地域創生の拠点施設「YAMAGA BASE」をグランドオープンした。コワーキングスペースやシェアオフィスに加え、宿泊施設、動画配信スタジオなどを併設した施設となり、雇用創出や交流人口の拡大、移住・定住の促進といった地域課題の解決が期待されている。3月30日のオープニングイベントには地域住民ら約500人が訪れた。

2017年3月に閉校した旧千田小学校を購入して利活

用する事業者に、やまがBASEが選ばれ、オープンに向けた準備を進めていた。スペースが設計施工を担当し、23年3月に基本・実施設計、同年10月に工事に着手し、ことし3月に完成した。施設規模はRC造2階建て延べ約3056平方呎。



内装に伝統工芸品

1階にレクリエーションスペースやイベント開催が可能なクリエイティブスタジオ、2階にラウンジや宿泊施設、コワーキングスペース、動画配信できるスタジオなどを配置した。山鹿灯籠の職人による灯籠照明や来民（くたみ）うちわなどの伝統工芸品を内装に活用するなど、山鹿の伝統文化や産業をデザインに取り入れた。所在地は山鹿市鹿央町千田4187。

山鹿市に拠点施設

